

2012年初春

こんなに面白い!

近代文学入門コース②

正岡子規と夏目漱石



講師:青木 登(紀行作家)

夏目漱石と正岡子規は東京大学時代の親友。子規が亡くなったあと、子規の弟子の高浜虚子に勧められて書いた『吾輩は猫である』が評判になり作家となった。この時39歳、遅い文壇デビューである。漱石は高田馬場一帯を治める名主の子に生まれたが、すぐに里子に出されたり、養子に出されたりして、不幸な幼年少年時代を過ごした。その不幸な生い

立ちが数々の名作を産む源泉となった。作家生活はわずか11年。

取り上げる作品は、『三四郎』『それから』『門』『こころ』『夢十夜』『道草』『明暗』。自分の生い立ちを描いた『道草』と最後の作品となった『明暗』はリアリズムに徹した作品で、漱石を理解する重要な作品となる。

日時 2012年 1/12・26 2/9・23 3/8・22
(全6回) 第②・④木曜日 10:00~12:00

場所 (公益財団法人)社会教育協会 「ゆうりか」
日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル
(JR 豊田駅北口徒歩1分 牛井の「すき家」の3階)

講師 青木 登(紀行作家・NHK 多摩カレッジ講師)

参加費 10,710 円 (全6回分・消費税込) 教材費 1200 円別途

定員 15名

申込み 電話か FAX で協会受付までお申込み下さい。

TEL042-586-6221 FAX042-589-3626

主催 〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26

シンデレラビル 3F (公益財団法人)社会教育協会

<http://www.zaidan-syakyo.org/>

※ 参加費のお支払いはお申し込みから1週間以内をお願いいたします。キャンセルされる場合は、当協会の規定によります。